

Color of your style  
**scene fit**

ワイヤレス光学式マウス取扱説明書



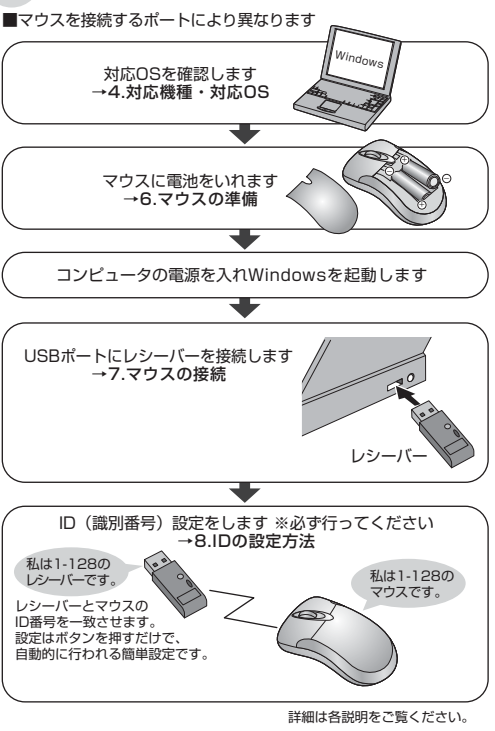
1. ワイヤレスマウスの接続手順
2. 特長
3. 警告
4. 健康に関する注意
5. 対応機種・対応OS
6. マウスの準備(電池の入れ方)
7. マウスの接続
8. IDの設定方法 ※必ず行ってください
9. 本製品の使用方法
10. ご使用上の注意
11. 「故障かな…と思ったら」
12. 保証規定・保証書

最初に ご確認ください	●マウス本体	1台
	●コンパクト直付レシーバー	1台
	●単四乾電池(テスト用)	2本
	●取扱説明書	1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

1. ワイヤレスマウスの接続手順



2. 特長

この度は、ワイヤレス光学式マウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔にならないといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、コンパクト直付レシーバーなのでデスク周りもスッキリ、電池式小型タイプなので、携帯・モバイルにも便利です。ボールを使わないので、チリやホコリがたまって動きにくくなることなくメンテナンフリー構造になっています。本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。  
※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

3. 警告

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品をラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

4. 健康に関する注意

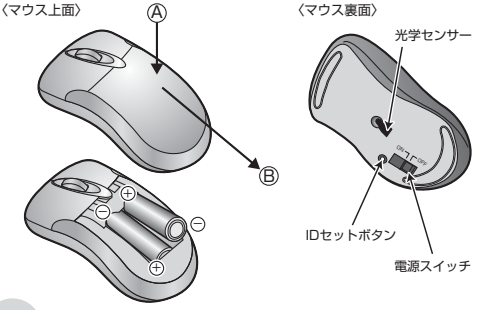
マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩などに負担が掛からないように心がけてください。

5. 対応機種・対応OS

- 対応機種
- DOS/V(Windows搭載)パソコン
  - Apple Macシリーズ
  - ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。
- 対応OS
- Windows 7/Vista/XP/2000/Me/98SE/98及び  
Mac OS X(10.2以降)
- ※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。  
※機種により対応できないものもあります。  
※この文章中に表記されるその他の製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

6. マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウス上面の電池カバーを押さえながら(A)、手前にスライドし(B)、取外してください。マウスに付属の単四乾電池を2本入れ、電池カバーを取外したのとは逆の方向にスライドさせ、取付けてください。  
電池を入れる際、電池の方向には注意してください。(下図参照)  
※電池カバーを開ける際、硬い場合がありますので、その際は(A)を強めに押しながらカバーを開けてください。
2. マウス裏面の電池をONにします。  
※長時間マウスを使用しない場合やマウスを持ち歩く際などに光学式センサーが点灯していると、電池が消耗しますので、電源をOFFにすることをお勧めします。
- ※マウスの電池は、通常の使い方において約1ヶ月半が目安となっています。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。)電池交換の際は、単四乾電池をご使用ください。
- ※空になった電池をマウス本体内にそのまま置いておくことと液漏れの原因になりますので、取出しておいてください。



7. マウスの接続

■本製品をUSBポートに接続する際の注意(Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず最初にUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

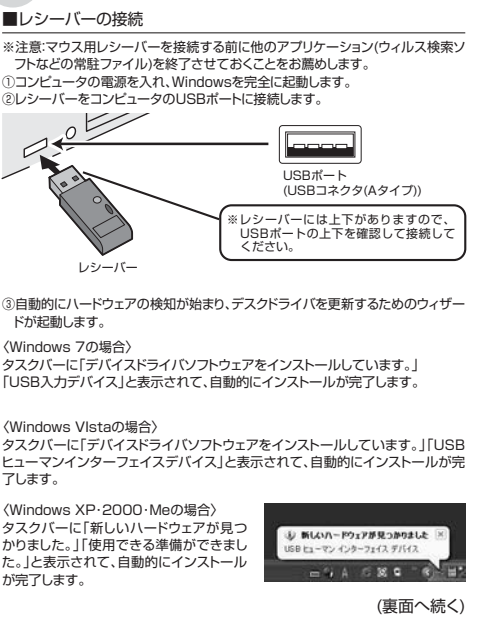
「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルserialバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていない、または「ユニバーサルserialバスコントローラ」のデバイスがなにも見つかからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルserialバスコントローラ」のペンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

- BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合 (Windowsの場合)
- BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
  - 通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

7. マウスの接続(続き)



最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- よくある質問(Q&A)
- ドライバーのダウンロード
- 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから

▼サポートコーナーへ

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社 2010.8現在

- 岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1  
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
- 東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8  
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
- 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目5-5  
TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
- 仙台営業所 / 〒983-0951 仙台市宮城野区榴岡1-6-37  
TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
- 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区権町1-6-7  
TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
- 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪府淀川区宮原4-1-45  
TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
- 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前8-20  
TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

## 7. マウスの接続 (続き)

(Windows 98/98SEの場合)

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

※Windows 98SE/98では、下記の作業が発生しますので、デスクトップパソコンの方はキーボード(もしくは他のマウス)が接続されている状態で行ってください。



- 新しいドライバを検索しています。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス  
----- 次へ)



- 検索方法を選択してください。  
○使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ)



- 新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。  
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れずに ----- 次へ)  
もし、検索場所を開いてきたら、  
 検索場所の設定(L)  
C:\WINDOWS\INF ▼

もしくは、  
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS  
※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、 CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



- 次のデバイス用のドライバファイルを検索します。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス  
----- 次へ)



- USBヒューマンインターフェイスデバイス  
----- 完了

※接続が完了したら、「8.ID設定方法」へ。

### ■USBポートによる接続 (Mac OS Xの場合)

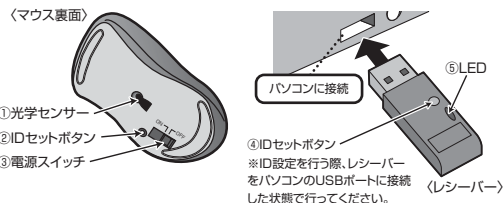
- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
- ②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
- ③接続が完了したら、ID設定を行います。(9.ID設定方法)へ

※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

## 8.IDの設定方法 ※必ず行ってください

※重要 (必ずお読みください)

レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスが使える場合は、ID設定を行う必要はありませんが、マウスが使えない場合は下記の手順でID設定を行ってください。もし、動作がスムーズでなかったり、また近い環境で本製品を2台以上お使いの場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくマウスが動作しなくなった場合は、IDの再設定とともに、電池交換もご確認ください。



ID番号を設定する前に、①(マウス裏面の光学センサー)が点灯していることを確認します。もし、点灯していない場合は、③(電源スイッチ)がONになっているか確認します。それでも点灯しない場合は、電池が正しく入っているかを確認してください。

- 1.ペン先等を使って④(レシーバーのIDセットボタン)を押します。
- 2.⑤(レシーバーのLED)がグリーンに点滅します。
- 3.⑤(レシーバーのLED)が点滅(15秒間)している間に、②(マウス裏面のIDセットボタン)を押します。
- 4.マウスが認識されたら、⑤(レシーバーのLED)が消灯します。
- 5.これで設定は終了です。マウスを動かしても、マウスポインタが動かない場合は、再度上記の設定を行ってください。
- 6.これでマウスは使えるようになりました。Windowsが標準で持っているマウスドライバで、スクロールモードもご利用いただけます。

※ID番号は256通りあり自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。  
※パソコンの電源を立ち上げ直した場合、もしくはマウスの電源スイッチをON/OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。  
※電池交換の際には、新品の単四アルカリ乾電池をご利用ください。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命が短くなります。)  
※異なるメーカーの電池を組合わせて使用しないでください。  
※電池交換の際はマウスの電源をOFFの状態で行ってください。  
※空になった電池をマウス内に置いておくと液もれの原因になりますので、取出しておいてください。

## 9. 本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます)機能が付いており、マウスから直接コントロールすることができます。Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。本製品は、Microsoft IntelliMouse互換機能も持っていますので、MS-OFFICEのようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



### ■左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも持ちます。またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

### ■ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

### ■ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

## 9. 本製品の使用方法 (続き)

### ■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

## 10. ご使用上の注意

本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがストップ/バグするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

### ■Windows Meで本製品をお使いになられる場合

「コントロールパネル」→「マウスのプロパティ」→「ポインタオプション」→「詳細設定」の「ポインタの加速度(A)」のチェックマーク(☑)を外してください。(Windows 2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

### ■Windows Me/98SE/98でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



## 11. 「故障かな…と思ったら」

- Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。  
A. 1. マウス裏面の光学センサーが汚れていない場合、電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(「6.マウスの準備」参照)  
2. レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(「8.IDの設定方法」参照)  
3. 光学センサーが光らな場合、電池寿命がもたれませんが、電池を交換してみてください。付属の電池(単四乾電池×2本)はテスト用です。(「6.マウスの準備」参照)  
4. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-EN1等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

- Q. マウスをしばらく操作しないと、動き始めた際に少し時間がかかる。  
A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンなどをクリックしてください。

- Q. マウスカーソルの動きがスムーズでない。  
A. 1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。  
2. 他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、ID番号の設定をやり直してみてください。  
3. レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は、0.2m~0.8mの間でご使用ください。  
4. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、新聞やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。  
5. ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。  
6. マウスを動かした際、レシーバーのLEDがレッドに点灯する場合は、電池を交換してください。  
7. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-EN1等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

- Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなりました。  
A. 1. ハイカラーモードを選択してください。

- 2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

保証書ラベル貼付欄